

高1生の1年間

早すぎることなんてない!! やることたくさん ファーストステージ



指導方針

大学入試で、最もウエートの高い科目は英語です。そしてまた、成績が伸びるのに一番時間がかかるのも英語なのです。だからこそ高1の段階から、しっかりと英語の基本を学ぶことが合格への最短距離となるのです。

トフルゼミナールでは「英語が楽しくなる=きちんと理解できる」ことを目標に指導します。授業では、日本語と英語の表現の違いに注意しながら、英語の仕組みを明らかにしていきます。長い文章に対応できる正確な文法・構文力と、必要な単語力を身につけ「本物の英語力」を定着させていきます。

クラス編成

高1生の授業は、春学期(4月~7月)、秋学期(9月~12月)、冬学期(1月~3月)の3学期制となっています。秋学期になる時期と冬学期になる時期に、それぞれ成績を考慮したクラス編成を行います。そのため、常にレベルに合ったクラスで学習することができます。

また学期途中でも、担当講師のアドバイスやカウンセリング結果に基づいたクラス移動を行います。生徒一人ひとり考えたクラス編成で、効率的な学習環境を提供しています。

フォローアップ・チューター

学校行事や中間・期末テスト対策で授業をやむを得ず欠席した場合は、担当の先生にいくらでも質問することができます。またトフルゼミナールを卒業したチューターが、家庭教師のようにマンツーマンで休んだ箇所の補講を行います。

忙しい高校生でも無理なく学習が進められるように、生徒一人ひとりをしっかりとバックアップしていきますから安心して通学できます。部活や学校行事と予備校での授業を確実に両立していく...トフルゼミナールだけのメリットです。

新規
コンセプト

ランゲージ&ヒューマン・スキル(L.H.)

ランゲージ&ヒューマン・スキル(LH)カリキュラムおよびテキスト群は、言語能力の基盤を作る2つのスキルを養成するもので、具体的にランゲージ・スキルの4技能(Reading・Listening・Writing・Speaking)と、3つの基礎力(Grammar・Vocabulary・Pronunciation)および言語の社会的文化的基盤に目を向けさせるヒューマン・スキルを有機的に統合したものです。

LH科目は、Grammar & Writing[文法・英作文]、Reading & Vocabulary[読解・語彙・ヒューマン・スキル]、Listening & Speaking[発音・リスニング・会話]に分かれていますが、G & Wでの基本英文の発話練習やR & Vのリスニング・音読の重視など、全科目にCommunicative Englishの要素が取り入れられています。

クラスは、3つの科目それぞれで学習者に適したレベルで受講する「能力別編成」になっていて、入学時の「プレースメント・テスト」や、年間6回の「復習テ

スト」、年間3回の「実力テスト」によって学習効果を測定し、学習進度に合わせたレベル選択を実現します。

教材には、学習効果を高めるための補助機能も組み込まれています。テキストにはReviewコーナーや基本英文の暗唱チェックがあり、ほぼ3レッスンごとに「復習テスト」が実施されます。さらに、少人数クラスの特徴である指導者と学習者のインタラクティブな授業を可能にするために、予習段階で学習の基礎を作る「反転授業」的要素を取り入れています。

ランゲージ&ヒューマン・スキル 概念図



高1生のケアシステム

トフルゼミナールでは、生徒一人ひとりの学習効果を上げるため、さまざまなケアシステムでバックアップします。

授業は毎回出席を取ります。出欠は厳しく管理します。授業では毎回当てていきますので、緊張感があります。復習テストでやる気をはかり、学習指導の資料とします。定期的に行われる実力テストで学力を測定し、常に成績の推移を把握します。試験結果に基づき、担当講師が個別カウンセリングします。定期的各校舎オリジナルの「通信誌」で行事日程などのお知らせをお送りします。

学習カウンセリング

日々受験問題を研究している講師が、学習全般についての確にアドバイスを行います。個々の成績や一人ひとりに応じた学習法を示したり、正確な問題解法のエッセンスを教えます。実際に、皆さんの授業を担当している講師がカウンセリングを行いますので、生徒それぞれの理解度や進度を踏まえた上で、最適な学習アドバイスが行えます。

英語はもちろん不安な教科についても相談することができます。

実力テスト (7月・9月・2月)

英語の総合的な力を分野別に測るテストです。「読解」「文法」「語彙」「作文」「リスニング」の分野を含み、各自の長所や短所の明確化により、得点力を上げたり弱点を補強するための目安になります。

復習テスト

定着度をチェックするために、3~4レッスンに1回のペースで実施するテストです。実力テストと異なり、すでに学んだテキストに掲載されている文章や問題がそのまま出題されます。

ここで高得点を目標にすることが、予習・授業・復習のサイクルを確実に身につけるための強いモチベーションとなります。

*日程は変更される場合があります。

<p>3 March</p> <p>春期講習会開講</p>	<p>4 April</p> <p>春学期授業スタート 入学オリエンテーション</p> <p>学習目標 高校での勉強のスタートです。中学までの英語との違いに注意しながら、一歩一歩学習していきましょう。まず予習復習の習慣をつけること、授業を休まないことです。</p>	<p>5 May</p> <p>進学カウンセリングスタート スタディカウンセリングスタート</p> <p>進学カウンセリング トフルゼミナールの進学担当スタッフによる学習カウンセリングが始まります。学校との両立の仕方やトフルゼミナールの効率的な活用法などのアドバイスが受けられます。また、夏期講習会を含めた夏の勉強方法もこの時期に計画しておきましょう。</p> <p>スタディカウンセリング 新学期授業開始直後にスタディ・カウンセリングが始まります。中学までの勉強法は高校英語や大学入試には通用しません。早い時期に自分の学習計画を確立するためにも、スタディ・カウンセリングを受けて英語が得意科目となるように頑張ってみましょう。</p>	<p>6 June</p> <p>カウンセリング月間</p>	<p>7 July</p> <p>第1回実力テスト</p> <p>夏期講習会開講</p> <p>学習目標 高校での勉強にも慣れてきた頃だと思います。この時期には春学期に行ったことをもう一度復習し、きちんと力になっているかを確認しましょう。夏期講習会でも演習問題に触れ、これまでの成果をチェックするのが良いでしょう。</p>	<p>8 August</p> <p>秋学期クラス編成発表 文法特別講座</p> <p>海外研修 オプショナル)</p>	<p>9 September</p> <p>秋学期授業スタート</p> <p>学習目標 学校の行事で忙しい時期、勉強がおそまかになりがちですが勉強を中断してしまつとこれまでの成果が現れないままになります。できるだけ授業を休まずにがんばって出席しましょう。もちろん予習・復習も忘れず。</p>	<p>10 October</p> <p>大学入試説明会 カウンセリング月間</p> <p>学習目標 これまでで培った学力を土台に、飛躍的に実力が伸びてくる時期です。後半の学習計画を立て、一歩一歩着実にこなしていくことが大切です。学校の勉強との両立を目指してがんばりましょう。</p>	<p>11 November</p> <p>第2回実力テスト 進学三者面談</p>	<p>12 December</p> <p>冬期講習会開講</p> <p>学習目標 冬期講習会での問題演習を通して、苦手な箇所を発見し克服していきます。また、これまで学んできたテキストの復習もこの時期にやっておきましょう。</p>	<p>1 January</p> <p>冬学期授業スタート</p> <p>学習目標 学んだことを総仕上げする時期です。授業での解説や問題演習で完成度をチェックしてください。春と比べて見違えるほど実力がアップしているでしょう。</p>	<p>2 February</p> <p>第3回実力テスト</p>
-------------------------------	--	---	--------------------------------	---	--	---	--	---	---	--	-----------------------------------

(高1生コースは3月第1週まで)